

report 2015

取り組み報告書

～未来のために、子どもたちのために～

スマイルな育児を。
アカチヤンホンボ



はじめに

赤ちゃん本舗は、お客様をはじめ、地域社会や従業員から信頼される誠実な企業を目指し、取り組みを行っています。常にお客様の立場に立って、商品開発や店舗環境づくりに取り組んでいます。安全・安心な商品をご提供するための厳しい社内基準を設けた品質管理体制を維持し、より安全で快適な店舗にするための環境を整え、さらに進化を続けています。また、事業特性を生かし、子育てを総合的に支援するための情報の提供や、イベントなど「コト」の提供も積極的に行ってています。「スマイルな育児を。アカチャンホンポ」というコーポレートメッセージを掲げ、家族みんなを笑顔にする子育てを応援しています。従業員に向けては、魅力ある職場にするために、やりがいの持てる制度を整え、多様な働き方・人材の育成を推進しています。地域社会や国際社会に対しても、環境問題への取り組み、地域社会との共生、社会貢献活動に積極的に取り組んでいます。

目次

お客様に向けて

●安全・安心な商品とサービスの提供

- ①商品や取引の法令を遵守する体制
- ②お客様の期待に応えるサービス向上
- ③安全で快適な店舗設備
- ④キッズデザイン賞の受賞
- ⑤子育て社員の声を生かす社内SNSやママコミュニティの活動

●子育て支援活動

- ①マタニティスクール
- ②プレパパナイトツアー
- ③その他の子育て支援イベント
TOPICS→コーポレートメッセージムービー
「スマイルな育児を。」
▶ムック本「アカチャンホンポのスマイルな育児」
▶スマイル育児ラジオ

従業員に向けて

●働きがいのある職場づくり

- ①多様な人材の活用
- ②多様な働き方を認め、やりがいの持てる制度づくり
- ③能力向上支援

社会への貢献

●環境負荷の低減

- ①CO₂削減の取り組み-エコ割引・環境月間-
- ②節電
- ③リサイクル・リユース
TOPICS—PLA-PLUSプロジェクト

●地域社会との共生

- ①地域の子育て支援活動
- ②地域との連携

●社会貢献活動

- ①ホワイトリボン運動

お客様に向けて



●安全・安心な商品とサービスの提供

①商品や取引の法令を遵守する体制

【商品の品質】

アカチャンホンポのお店に並んでいる商品は、アカチャンホンポ独自の厳しい品質基準で、管理を行っています。繊維製品については、「アカチャンホンポ子供服安全基準」をもとに、フードや引き紐など、安全性に関わる項目を設定し管理しています。また、公的検査機関による生地や製品に対しての品質検査データを見える化し、商品部門、品質管理部門、お取引先、工場がリアルタイムで情報共有できる「アカチャンホンポQCweb」というインターネットシステムを、業界に先駆けて開発し運用しています。また、お取引先と「品質改善会議」を開催し、現状の問題点を参加者が話し合うことにより、品質管理意識の維持向上を目指しています。会議では、実際に起きた事例を展示して共有するなど、再発防止と未然に防ぐ取り組みも実施しています。商品の品質、安全性を厳しく管理することは、赤ちゃん用品をお客様にご提供する当社にとって社会的使命であると考えています。



公的検査機関で当社商品の試験を実施しています。
写真左から、強度試験の様子、摩擦堅牢度試験の様子、
ホルムアルデヒド含有試験の様子。



お取引先との
品質改善会議の様子



再発・未然防止
ための展示

【お客様への約束】

商品の表示、店頭のPOPはお客様が商品を選択する際の重要な情報です。「お客様に信頼される誠実な企業」であるために、関連法令を守り、お客様の誤解を招かないよう、正確でわかりやすい表示や情報の発信に努めています。FT(フェアトレード)担当と監査部が連携し、店頭表示の実態を客観的な数値で評価し、その結果をもとに店長や副店長と改善に向けた具体的な対策を講じています。また、表示に関する注意点を週次月次で定期的に全店舗へ情報を発信するとともに、社内教育にも力を入れ、検定や研修を実施しています。DMチラシ、カタログ、パンフレットなどの各種広告媒体についても、記載されている商品情報や価格情報が正確であるか、お客様の誤解を招く情報が載っていないかなどを事前にチェックしています。

【お取引先への約束】

公正な取引の徹底は、事業活動の大前提であり、お取引先に対する責務と考えています。「お取引先に信頼される誠実な企業」であるために、FT・QC委員会の設置などの体制を整備し、社内意識の向上を図っています。公正取引に関する社員教育の実施や「商談メモ」などを用いた取引内容の文書化を指導し、優越的地位の濫用や下請法違反といった法令違反や反社会的な行為を防止しています。

②お客様の期待に応えるサービス向上

「年中無休、無料通話ダイヤルのお客様ご相談窓口」(受付時間9:00～17:30)を設けて、お客様からのご要望、ご意見、お問い合わせなどを承り、迅速かつ誠実に対応しています。さらに、これらお客様の声を関係各部署で共有し、改善を図っています。また、お客様対応支援システムの導入により、お客様相談窓口と、関係各部署、店舗との連携が強化され、お客様からのお申し出に迅速な対応が可能となり、お客様の声を適切に経営に反映するために、いただいた声をデータベース化し、蓄積する仕組みを構築しています。また、「フレンドリー通信」を毎週店舗スタッフへメールで配信し、いただいたお声に基づいた今週取り組むべき内容を共有することで接客向上に努めています。

③安全で快適な店舗設備

<安全な売場づくり>

安全で快適な売場作りを目指し、店舗におけるさまざまな工夫を行っています。商品を並べる棚の角を丸くしたり、陳列用の飛び出したフックの先端をガードするためにセーフティープライスカードを使用するなど、お店に来られる小さなお子さまのことを考えた作りを心がけています。その他にも従業員の使うハサミやカッターナイフ、ホッチキスの使用を厳しく管理して、より安全な店舗環境となるよう配慮しています。



【商品陳列棚】

棚の角を丸く加工し、当たっても怪我をしないように工夫を施しています。(一部の棚を除く)



【セーフティープライスカードホルダー】

フックの先端をプライスカードホルダーを使ってガードしています。

<快適な売場づくり>

お子さま連れのお客様が快適にお買物していただけるよう、通路幅をゆったりと確保しスムーズな買い回りをサポートしています。また、はじめてのお買物でもわかりやすく選びやすいように、触って、試着して、実感してから購入いただけるようサンプルを多く取り揃えています。買やすいよう陳列方法にも工夫をこらし、月齢別売場にも力を入れています。



【通路幅の確保】

ベビーカーでのお買物をより快適にするために通路幅をゆったり確保しています。



【月齢別売場】

離乳食や玩具売場はメーカー別ではなく、月齢ごとに商品をまとめて買いややすくしています。



【試着サンプルの品揃え】

スタッフに相談しながら、産前産後のインナーを色々と試してから購入することができます。



【触って選べるサンプルの品揃え】

紙おむつやおしりふきなどは色々な種類を触って比べて、購入することができます。

お客様に向けて



④キッズデザイン賞の受賞

2015年7月、特定非営利活動法人キッズデザイン協議会主催の第9回キッズデザイン賞を4商品(シリーズ)で受賞しました。

～子どもの産み育て支援デザイン 個人・家庭部門～
「見えちゃうクリアトイレシート」
「赤ちゃんのむぎ茶」
「水99%Superシリーズ」
「赤ちゃんの気持ちシリーズ」



キッズデザイン賞は、「子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン」「子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン」そして「子どもたちを産み育てやすいデザイン」というキッズデザインの理念を実現し、普及するための顕彰制度です。

【見えちゃうクリアトイレシート】

全体が透明のクリア仕様の補助便座。洋式便器に取り付けて使用します。透明なのでお子さまの排泄の様子が確認しやすく、親がタイミングよく声をかけられることで、排泄の感覚の習得や「できた!」という自信につながります。おしゃりにフィットしやすい形状で、透明なのでポジションの確認もしやすく、簡単脱着タイプでお手入れも簡単です。



【赤ちゃんの気持ちシリーズ】

赤ちゃん目線から機能性を追求した、ベビーウエアのシリーズ。基本的な機能に加え、赤ちゃんにとっての快適さを追求し、縫製など細かな部分までストレスを軽減する配慮をしながら設計しました。0~3ヶ月のねんね期には、脇や首回りに凸凹が少ないソフトな仕様のドレスオール。3~6ヶ月の寝返り挑戦期には、脇の縫い目をなくし腕を動かしやすい仕様のプレオール。6~12ヶ月のおすわり~つかまりだち挑戦期には、おなか回りや足回りがゆったり苦しくないらくらくオール。それぞれの発達段階に合わせたラインナップを開いています。



※シリーズ一例

【赤ちゃんのむぎ茶】

石川県産の六条大麦と、山梨県北杜市の水をつかった麦茶。産地を知りたいというお客さまのニーズにこたえ、「国産」の表示だけではなく、麦の産地と採水地を明確に表示しました。生後1ヵ月頃から飲める、やさしい味。香料・着色料・保存料不使用で、自然なおいしさを生かした味わいに仕上げています。お子さまでも飲みきりやすい125mlの紙パックで、お出かけにも便利です。



【水99%Superシリーズ】

超純水を99%以上使用した、新生児からのおしりふきとウェットティッシュのシリーズ。超純水とは、浄化技術を組み合わせ極限まで不純物を取り除いたH₂Oに限りなく近い水のこと。さらに防腐剤・殺菌剤も必要最小限に抑え、プロピレンギリコールを使用していないやさしい処方液です。スタンダードタイプのほか、厚手タイプ、液たっぷり&厚手凸凹タイプ、バラベンフリータイプ、手口まわりウェットタイプ、トイレに流せるタイプ、テンセル素材のプレミアムタイプの計7種類を展開しています。



※シリーズ一例

⑤子育て社員の声を生かす社内SNSやママコミュニティの活動

妊娠・子育て中の従業員約50人で構成された社内SNS「育アカチャンネル」で随时アンケートをとり、育児に関わる生の声を聞いたり、「ママコミュニティ」の活動として、社内ママたちの意見を聞く場を設けています。また、当社の会員様にメルマガでアンケートを依頼し、リアルなママの声を商品開発や、よりよいお店づくりに取り入れています。

ママたちに集まってもらい発売前の商品について意見を聞いている様子



お客様に向けて



●子育て支援活動

①マタニティスクール

マタニティスクールは、ご夫婦で参加していただき、助産師を講師に招いての講義や沐浴実習、パパのマタニティ体験を行いういイベントです。初回の開催は1985年。当初から、パパにもご参加いただくことをおすすめしてきました。2015年度は約50店舗で303回実施しました。またホームページではマタニティスクールの内容のご案内をレポート形式でご紹介し、情報公開しています。

<http://www.akachan.jp/event/matarnityschool/index.html>



マタニティスクールの様子 写真左から、助産師の講義、新生児の抱っこ体験、沐浴実習、マタニティ体験の様子

②プレパパナイトツアー

パパの育児を応援するイベント「プレパパナイトツアー」。パパが仕事のあとでも参加できる時間帯に、妊娠の身体の変化や妊娠から育児までに必要な商品について学ぶことができます。アカチャンホンポの従業員がそれぞれの担当の専門知識を生かし、店内を説明してまわるツアーです。2010年6月から一部の店舗で実施していましたが、2014年6月からは全店で毎週実施しています。2015年度は1,105回開催をしました(2016年2月末現在)。また、ホームページでは、プレパパナイトツアー内容のご案内をレポート形式で紹介しています。

<http://www.akachan.jp/event/prepapa/index.html>



※ツアー内容は一例です。

③その他の子育て支援イベント

【アカチャンホンポ えほんの日】

お子さま向けイベントとして、アカチャンホンポのスタッフがえほんの読み聞かせを行いういイベントです。読み聞かせを親子で楽しんでいただくことで、おうちでのコミュニケーションにもつなげてほしいという考え方のもとに実施しています。店頭にて随時開催しています(一部店舗を除く)。2015年度開催数は726回の実績。



【1歳のおたんじょうび会】

1歳になったお子さまとご家族が集まり、はじめてのおたんじょうびをお祝いするイベントです。お子さまに選び取ってもらう将来占いや、一升餅に見立てた荷物を背負ってお祝いをします。事前予約制です(全店で実施)。2015年度開催数は2,471回の実績。



【スマイル子育てカレッジ】

2015年12月から実施している新イベントです。当社のママ社員が、リアルなママ目線でお客様の気持ちに寄り添い、もっと子育てをスマイルにするためにできる子育て支援活動は何かを考え企画しました。企画・開発する中で、お客様の「知りたい」「学びたい」というニーズを満たすには、あらためて商品のことをお伝えしたいという思いに至りました。また、お客様同士のつながりの場をご提供できる当社ならではの楽しい企画も盛り込んでいます。

妊娠8ヵ月頃の妊婦さま、ママと生後6ヵ月ごろのお子さまそれぞれを対象に「スマイル・スタディ(商品勉強会)」と「スマイル・パーティ(お楽しみ会)」を実施しています。

2015年度開催数は、妊婦さま向けイベント22回、ママとお子さま向けイベント141回の実績。



妊娠8ヵ月頃の方向けイベントの様子



ママと6ヵ月頃の
お子さま向けイベントの様子

お客様に向けて



TOPICS

▶コーポレートメッセージムービー「スマイルな育児を。」

2015年3月25日からコーポレートメッセージムービーを公開しています。赤ちゃん本舗では、2015年を新たなステージへ踏み出す第一歩とし、企業としての提供価値を再構築する「リ・ブランディング」に取り組んできました。お客さまの子育てに寄り添い、もっと子育てをスマイルにするための商品・情報・サービスなど、新たな価値の追求を掲げています。それに伴い、コーポレートメッセージを「スマイルな育児を。アカチャンホンポ」とし、ロゴマークも刷新。これを機としてコーポレートメッセージムービーを製作しました。

子育ての中には、大変なこと、つらいこと、困ったこともあるけれど、ふとした日常の楽しさやうれしさも、成長のよろこびや感動も、たくさんあふれています。私たちは子育てのどんな場面でもお客さまの気持ちに寄り添い、それを支える価値を生み出し提供していきます。コーポレートメッセージムービー『スマイルな育児を。』に想いを込めました。



▶ムック本「アカチャンホンポのスマイルな育児」

2015年12月12日に、「アカチャンホンポのスマイルな育児」を発売しました。ママ・パパに出産と子育ての日々をもっと楽しんでほしい、という思いを込めて制作した、アカチャンホンポ初のムック本です。アカチャンホンポの店舗や商品・サービスをはじめ、マタニティ期～赤ちゃんが1歳になるまでの過ごし方をまとめたカレンダー、新米ママ・パパのための離乳食レシピなどを掲載しました。また、家族みんなが子育てに参加するためのブックインブック、妊娠から1歳のお誕生日までを記録できる「スマイルダイアリー」を付きました。

「スマイルな育児を。アカチャンホンポ」というコーポレートメッセージを具現化し、お伝えしています。



ムック本「アカチャンホンポのスマイルな育児」

▶スマイル育児ラジオ

2015年の新たな取り組みとして、ラジオ番組をイメージした店内放送を全店で流しています。当社独自の視点でお客さまにお届けしたい情報を盛り込みました。子育てに関する豆知識やイベント情報、赤ちゃん向けCDの中からのおすすめ曲やおすすめ絵本の紹介など、楽しんで聞いていただける内容となっています。お買物の時間に、楽しく便利に情報収集していただける環境をご提供しています。



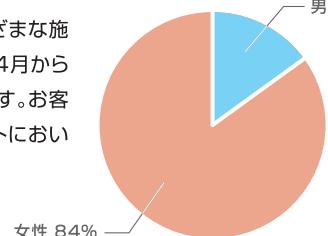
●働きがいのある職場づくり

①多様な人材の活用

【女性の活躍】

アカチャンホンポの正社員は約半数が女性であり、従業員全体では80%以上を女性が占めています。さまざまな施策を通じて、女性の活躍を推進しています。その一環として、女性スタッフのみで運営する店舗を2012年4月から発足させました。また、女性の役職者は正社員全体の30%以上を占めており、年々増加して、活躍しています。お客様も大半が女性であることから、女性ならではの視点での売場づくりや接客はもちろんのこと、マネジメントにおいても、女性同士だからこそ相談できる活発なコミュニケーションで、問題解決にあたっています。

■従業員男女比率(正社員・パート含む)



【障がい者雇用について】

障がいのある方が活躍できる職場づくりに積極的に取り組んでいます。ハローワークからの紹介だけでなく、特別支援学校や就業・生活支援センターとも連携し、障がいの程度に応じて、配属先・業務内容・就業時間などを決定しています。一部では、入社される前の不安を和らげるために、職場体験を通じて様々な業務を経験してもらい、十分に能力が発揮できるよう職場への適応状況を把握し、必要に応じて環境改善や現場の責任者へ助言やサポートを行っています。また、業務を容易にするために、読書拡大機や大きなPCモニターを導入するなど、働く環境整備にも積極的に取り組んでいます。

②多様な働き方を認め、やりがいの持てる制度づくり

【公正な評価・処遇】

2011年9月から人事評価制度を一新しました。新たな人事評価制度では、自己評価と上司との面談が加わり、この面談を通じて、本人に評価結果を伝えるだけでなく、「良かった点」「今後さらに伸ばすべき点」「改善すべき点」などを互いに共有して、評価の透明性・公平性を確保するとともに、人材育成につなげることを目指しています。

【ワークライフバランスの実現に向けて】

2012年4月から人事制度を改定し、社員が自分のライフスタイルに合わせた働き方を選択できる社員群制度を導入しました。特に出産や子育て、介護などで仕事と家庭の両立が必要な場合には、転居を伴わない働き方が選択できる制度です。一方、全国に転勤可能でキャリアアップを目指す社員は、ナショナル社員を選択することができます。また、パート社員からの社員登用試験も毎年実施し、活躍の場を広げています。

【育児との両立を支援】

パート社員を含む全従業員が、働きながら育児できるように、育児支援制度を整備しています。特に出産・育児をサポートする企業として、法定水準を上回る待遇にしています。例えば、「慣らし保育」の期間をフォローするため、休業できる期間を1歳到達直後の5月15日まで延長し、育児短時間勤務は小学校6年生まで利用できる制度にしています。2016年2月現在、正社員のうち、育児休業者は30名、育児短時間勤務者は57名で、これは正社員全体の9.0%を占めており、出産・育児を経験した多くの社員が職場復帰し活躍しています。2014年9月から、育児短時間勤務者を副店長に登用し、2016年2月現在、8名が副店長として勤務しています。今後ロールモデルとしてさらに拡大していく予定です。2012年4月には、社員の出産祝金を改定し、最高30万円としました。新たに、子育て中の全従業員を対象に社員割引制度も導入し、子育てを支援しています。また、社内SNS「育アカチャンネル」では、育児をしながら働く仲間同士のつながりをサポートしています。



「育アカチャンネル」WEB画面

【立候補制度】

「一人称で仕事をする」という組織風土を構築するため、自らが挑戦したい職務に立候補できる制度を2013年度から開始しました。社員自らが能動的に挑戦していくという強い意欲を持ち、その意欲と可能性を、人事政策と結び付けることでキャリアアップの機会をつくり、よりやりがいを持って働くことができる環境づくりが組織の活性化には不可欠であると考えています。

従業員に向けて



【パートリーダー制度】

働きがいのある職場構築に向けて、2013年9月から、「パートリーダー制度」がスタートしました。この「パートリーダー制度」は、教育ツールである「スキルアップ検定」にて、必要とされる商品や業務知識を審査し、また年2回の人事評価にて、日常業務において、継続して高い評価を受け続けたパート社員が、次のステージへステップアップすることができる制度です。「パートリーダー職」に認定されれば、正社員・パート社員を問わず、より高い職務につくことも可能です。2016年2月現在、83名がカテゴリーの売場責任者(ストアリーダー)として活躍しています。この新たな制度を活用して、2016年度は161名のスキルアップ意欲の高いパート社員に「パートリーダー職」を目指した教育をスタートさせます。パート社員からも、自分の能力・意欲・リーダーシップを職場で発揮してもらい、より働きがいが持てる職場作りにつなげています。



パートリーダー
認定式の様子

③能力向上支援

【人材育成について】

雇用形態に関係なく、全従業員の能力向上を目指した人材育成を行っています。新入社員や新任管理職研修などの階層別集合研修だけではなく、現場での研修も重視しています。全従業員が対象の社内検定では、WEBテストや技能検定で業務の習得度を確認し、自らの成長度を振り返る機会となっています。また、自己啓発のための通信研修も実施し、受講費用の一部を会社が補助することで、自らの学ぶ意欲を後押ししています。



各種研修の様子



WEBを活用した社内検定の様子



新入社員集合研修の様子



新入社員レジ研修の様子

【社内啓発活動】

社内基準により、「あいさつ」「お声かけ」の観点から接客が評価されたスタッフを表彰する「スマイル・アワード」制度が2014年10月から始まり、2016年2月までに232名が受賞しました。232名中、3名がスマイル・アワードを3回受賞し、殿堂入りを果たしました。2015年6月には関東地区と関西地区にて受賞者が集まる場を設け、そのスキルを評価・共有しました。より質の高い接客をかなえるため、社内啓発活動を通して、スタッフのやる気を後押ししています。



社会への貢献



●環境負荷の低減

①CO₂削減の取り組み

【エコ割引の取り組み】

2009年6月から、CO₂削減の取り組みの一つとして、レジ袋はいりませんとお申し出いただいた場合、2円値引きする「エコ割引」を実施しています。店頭ポスターを掲示し、店内で取り組みを訴及するとともに、レジでのお声かけ、レジ袋不要の提示カードの設置をし、利用促進を図っています。



レジ袋不要の
提示カード



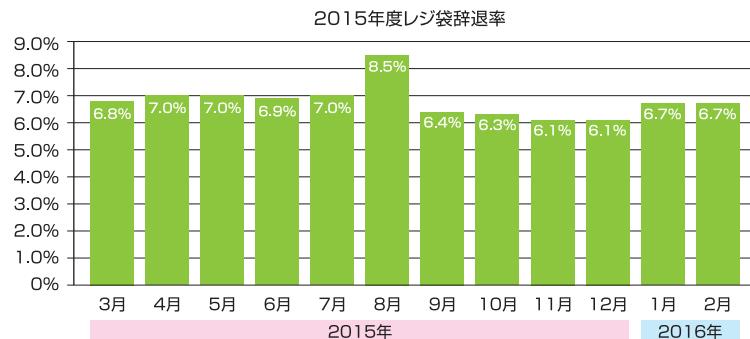
店頭ポスター

社会への貢献



【環境月間の取り組み】

2015年6月の環境月間の取り組みとして、1ヵ月間「エコ割引」のレジでのお声かけ強化を実施しました。また、店舗事務所の情報ボードに、環境についての豆知識を30日間毎日内容を変更して掲示し、環境に対する意識を高める活動も併せて行いました。6月のレジ袋辞退率アップに大きく貢献はできませんでしたが、7月に微増、8月には6.9%（6月）→8.5%（8月）へ大幅にアップし、意識づけの効果が出ています。



環境省が推進している低炭素社会実現に向けた気候変動キャンペーン「Fun to Share」に賛同しています。「Fun to Share」とは、「最新の知恵をみんなで楽しくシェアしながら、低炭素社会を作っていくよ!」という合い言葉です。赤ちゃん本舗は「レジ袋削減で、低炭素社会へ。」を宣言しています。

②節電

【節電実績】

東日本大震災以降、節電施策の強化、CO₂排出量の削減を目標に掲げ取り組んでいます。2015年度は新規出店9店舗のうち7店舗、既存店では、17店舗の基本照明を中心にLED化を実現しました。今後も環境に配慮した店舗づくりを目指します。



2015年11月にオープンしたららぽーとEXPOCITY店。
基本照明含めすべての照明をLED化しています。

③リサイクル・リユース

【リサイクル】

店舗で使用する什器類において、一部をリサイクル可能な材質のものに変更しています。



【組布団展示用什器】

壁面上部の展示用什器を従来の木製から段ボール製に変更(2012年の新店から)。一部古紙を使用しており、使用後はリサイクル可能で焼却もできます。

【シューズ展示用底上げ器具】

アクリル製から段ボール製に変更(2012年の新店から)。原料は牛乳パックを使用しており、使用後はリサイクル可能で焼却もできます。

【リユース】

店舗が閉店する際、什器や備品などをリメイク業者に引き渡し、新しい店舗やリニューアルする店舗へ積極的に再利用しています。

TOPICS PLA-PLUSプロジェクトの取り組み



環境省と日本環境設計が進める「PLA-PLUSプロジェクト」にセブン&アイグループとして参加しています。店頭で不要になったプラスチック製品を回収し、それをリサイクルする活動です。アカチャンホンポでは、グランツリー武蔵小杉店限定で、2015年10月に期間限定で実施しました。

社会への貢献



●地域社会との共生

①地域の子育て支援活動

地方自治体が取り組んでいる子育て応援事業への登録を実施しています。「子育てにやさしい店」として、おむつ替えスペースや授乳スペース、ミルクのお湯提供など地域の皆さまにご利用いただきやすい売場環境を整えています。

2016年2月現在、登録しているのは17都道府県で、参加店舗数は49店舗です。以下登録自治体一例。



「埼玉県 赤ちゃんの駅」
子育て家族が安心して外出できる環境づくりを進めることを目的としています。



「福岡県 子育て応援の店」



「兵庫県 ひょうご子育て応援の店」

②地域との連携

【子ども110番】

アカチャンホンポでは、一部の店舗において「子ども110番」活動を実施しています。

これは、子どもが助けを求め駆け込んできたときに、その子どもを保護し、

110番通報などの対応をいち早く行い、地域ぐるみで子どもの安全を守る取り組みです。



高崎店



仙台泉店



長岡店



ワカバウォーク店

【災害時物資供給協定】

災害時における緊急事態で必要とされる物資を、要請があれば供給するという協定を1県7市と締結しています。

社会への貢献



●社会貢献活動

①ホワイトリボン運動

【ホワイトリボン運動の応援】

2009年5月から、国際協力NGOジョイセフが推進している「ホワイトリボン運動」の趣旨に賛同し、店頭に募金箱を設置するなどの活動を実施してきました。アカチャンホンポは、世界中のママと赤ちゃんの命を守る、ホワイトリボン運動を応援しています。

【アフリカ・ザンビアにマタニティハウスを贈ろうプロジェクト】

2012年5月から、「アフリカ・ザンビアにマタニティハウスを贈ろうプロジェクト」の取り組みを開始。店頭やインターネットでの募金受付やチャリティーウェブショップを開催するなどの活動をしてきました。また2012年9月にはホワイトリボン支援自動販売機の設置を開始しました。2016年2月で49台となりました。この自動販売機でのお買い上げ1本につき2円がこのプロジェクトへ寄付されます。

2015年度(2015年3月～2016年2月)店頭募金合計 445,983円
ホワイトリボン支援自動販売機寄付金合計 543,228円



マタニティハウス 第1号



現地で利用している方々



ホワイトリボン支援
自動販売機



店頭設置の募金箱



White Ribbon
世界中の妊産婦を守る

©JOICFP



ジョイセフ
途上国の妊産婦と女性を守る

ホワイトリボン運動とは、国際協力NGOジョイセフが推進している、世界中の妊産婦と赤ちゃんの命を守る運動です。
国際協力NGOジョイセフのホームページ <http://www.joicfp.or.jp/>

～未来のために、子どもたちのために～

株式会社 赤ちゃん本舗「取り組み報告書2015」 2016年3月31日